

寒さに負けず、今年もはりきって! イベント情報



淡路人形座

1月1日(火)から3日(木)「壺坂靈験記 山の段」と「戎舞」を上演。
各公演の先着3人は戎様に願い事を祈ることができます。

5日(土)以降は「本朝 廿四孝 奥庭狐火の段」を上演します。
人形と主遣いの早替わり、浄瑠璃も琴や三味線の連弾でお正月らしい華やかな演目を上演いたします。ぜひお越しください。

2日(水) 午前8時から、淡路人形発祥の三條八幡神社の脇宮、
9時からは上田八幡神社で三番叟の奉納を致します。

19日(土) 午後3時から京都芸術劇場春秋座で淡路人形だけの
演目「賤ヶ嶽七本槍 清光尼庵室の段」を上演いたします。

☎淡路人形座 ☎ 52-0260



灘黒岩水仙郷開園中!!

水仙の日本三大自生地として知られる灘黒岩水仙郷。諭鶴羽山から海へと続く斜面に日本水仙が咲き誇り、甘くて柔らかな香りが辺り一面に漂います。

「市の花」にも選ばれる日本水仙。一足早い春の訪れを感じに灘黒岩水仙郷を訪ねてみませんか。

入園料：大人 500 円、小中学生 300 円

開園時間：午前9時～午後5時（最終入園4時 30分）

※市ホームページで開花状況を掲載中

☎灘黒岩水仙郷 ☎ 56-0720、56-0721



府中やまゐり踊り

踊の様式については、「三原郡史」に詳述されているので参照されたい。ここでは、補足的に述べる。

以前は踊の間中、一人の古老が伝来の巻物を納めた木箱を抱えて太鼓打の傍に立つことになっていた。最近になって「やまゐり保存会」の手によって、巻物本文の読解並びに書かれていた神踊りの次第と現行の踊との照合等の研究が行われている。

踊の練習は、大榎列、小榎列、西川別々に行い、秋祭り当日の朝、宮総代や地区の重役が参列して神事が執行されている間に、拝殿東側で衣装を整えた踊り子によって試楽が通して行われる。踊の奉納時に拝殿前に二列に並ぶとき、向かって左に大榎列、右に小榎列、西川の踊り子が整列する。



島根県大田市で行われている「シツカク踊」（県の重要無形文化財指定）は、踊り子の出で立ち、人数、隊列、用いる用具が、府中八幡の「ささら踊り」と同じであり、誠に興味深い。さらさら踊りでは歌の文言は伝わっているが、節は分からなくなっている。シツカク踊では歌も伝承されており、さらさら踊りの歌の復興になんらかのヒントになるかどうか、今後の研究を待ちたい。

※市指定無形民俗文化財に指定された平成20年度より、踊りの練習は、大榎列、小榎列、西川が合同で練習している。

南あわじ市の歴史がつまみ
た一冊です!!
編集事務局

市長公室 ☎ 43・50002

URL: <http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/>
E-mail: kouhou@city.minamiawaji.hyogo.jp

※文化 伝統芸能 県指定民俗芸能と淡路だんじり唄・和太鼓から抜粋
※現状に応じ、一部加筆修正等を行っています
※今月で続三原郡史拾い読み「まちの民俗芸能」は終了です